

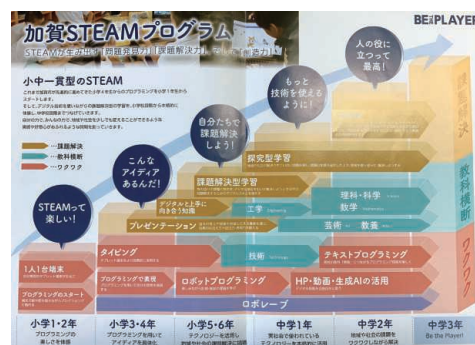
神戸
市会議員ひらの
平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 会派直通内線 7060**神戸経済の成長のためにデジタル人材の育成・活躍の土壌を!**
(STEAM教育の推進を!神戸高専の海外との人材交流へ)

様々な業種で必要となるデータサイエンス、AI を駆使できるデジタル人材を
経済界、大学、高専、専門学校、医療産業都市、教育委員会、神戸市役所の各部局と連携し、
教育、育成、活躍できる土壌を作り神戸独自の経済成長へ
小中学生には、加賀市での STEAM 教育を参考に推進！
神戸高専には、海外の IT 推進地域との人材交流による育成を！
(詳しくは、P2、P4 をご参照ください)

STEAM教育とは、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術(Arts)、数学(Mathematics)の5つの分野を統合した教育アプローチ。創造的な解決策を見つけることを重視し、21世紀に求められる柔軟な思考力や実践的なスキルの育成に役立つとされています。



加賀市STEAM教育

兵庫運河!自然共生サイト(30by30)へ登録申請へ 世界に発信!

地元の長年の活動で運河の水質が改善され、絶滅危惧種の生物も見られるようになり生物
多様性が豊かになった兵庫運河を自然共生サイトに 2024 年 9 月に申請！認定されれば、
国際データベースに登録され、世界に認識されることとなります！さらに世界銀行の調査
団が 2024 年 11 月に兵庫運河を視察。環境改善の背景を地元の皆様からヒアリング
(詳しくは、P3 をご参照ください)

世界銀行は、発展途上国の貧困対策や経済成長の支援を目的とする国際機関。近年は、持続可能な発展のため、環境保護と経済発展の両立を目指している。



兵庫運河

災害時に備え、医療・防災・連絡体制強化へ

南海トラフなどの広域災害の場合、DMAT がすぐに来ない可能性がある。
神戸市医師会が DMAT に代わり救護活動にあたる災害時神戸メディカル
チーム構想を検討中。実現に向けて体制、対応強化を！
(詳しくは、P3 をご参照ください)

DMAT(Disaster Medical Assistance Team)は、阪神・淡路大震災をきっかけに迅速に医療支援を行うため医師、看護師などで構成され、災害発生直後のおおむね48時間以内から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チーム



DMATによる被災者支援

**中学生の自治会役員、中学生による防災訓練、こども英語への在住外国人の参加
地域コミュニティに好事例の展開を!**

他都市では、中学生を自治会役員に、そして高校生、大学生も加わる自治会に！兵庫区でも中学生が考える防災訓練。子どもに人気の英語教室に兵庫区在住外国人の参加により英会話とコミュニティの両立へ
(詳しくは、P4 をご参照ください)



中学生が考える防災訓練

神戸市会議員
平野達司(たつじ)
事務所神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com

平野たつじ HP

神戸市会の本会議、
委員会をインターネットにて
閲覧できます。

神戸市会

自民党会派を代表して、市長はじめ市当局に代表質疑（令和6年9月20日）

神戸経済の成長を担う人材育成について

平 野 達 司

① 生成AIを含むデジタル人材の育成

生成AIなどデジタル技術の飛躍的な進展などで、日々変化していく社会環境にも迅速かつ柔軟に対応し、持続可能な神戸の実現に市長部局や教育委員会など横断的な連携はもちろん、企業や大学などの協力も得ながら、全市一丸となって取り組むことが必要として、神戸経済の成長を担う人材育成について質疑。

その中で、生成AIを含むデジタル人材の育成について質疑
そして企業のDX推進や生成AIなど新たな価値創出を担うデジタル人材を多く育成、輩出、そして、市内企業やスタートアップなど活躍の場をいかに創出するか

② 学生に人気がある情報通信系の企業の誘致

神戸には、大学、高校、高専、専門学校等が集積しているが就職を機に学生の多くが市外に転出している。多くの学生が志望する情報通信系企業の数が市内に十分ないことも原因の1つ
人口減少対策や人材の定着・集積のためにも、情報通信系企業の誘致・集積にさらに力を入れるべきではないか

久元市長 Microsoft AI Co-Innovation Labの活用、全業種で必要となるデータサイエンスやAIなどを駆使できるデジタル人材の育成と定着が急務。スタートアップの創出などを進めたい

神戸市に情報通信系企業の集積が薄いのは、問題意識を持っていた昨年度、補助制度を活用し進出したIT企業は17社、平成27年度以降、86社が進出し、約900名分の雇用創出の場が創出。

若者に選ばれる企業に進出してもらえよう、積極的に誘致する

平 野 達 司 経済界、地元の大学、高専、専門学校を含めたデジタル人材育成については

今西副市長 データサイエンスやAI領域で高度デジタル人材が多いアメリカの西海岸の調査、政府AI戦略会議の座長も務めておられます東京大学大学院の松尾教授の研究室と連携し、神戸におけるデジタル人材の育成、共同開発の場の創出、スタートアップ支援策の新規施策の検討につなげる

平 野 達 司 医療産業都市の AI 人材に関わる人材や企業の集積・育成するスタートアップにも見える化していく必要があるのでは

今西副市長 ベンチャーキャピタルとの連携強化により AI 技術に係る人材や企業の集積・育成に重点的に取り組みデジタル人材が医療産業都市で活躍できるような場も創設していく

平 野 達 司 デジタル人材を育てていくためには教育が必要。加賀市では、STEAM 教育を推進している。未来のデジタル人材の育成については

福本教育長 教育委員会としては、企業や大学と連携して多くの取組を計画的に支援できるような体制を整備する

平 野 達 司 自ら考える力、発想する力を養っていただく教育に、授業の在り方、環境、教員とともに、積極的に取り組んでいただきたい
東京にヒト・モノ・カネの一極集中に対峙するため神戸独自色を出していく必要がある。

神戸に来ることにより学びの場がある。その人材が育成できる。神戸で仕事ができる、活躍の場がある。海外にも展開できるぐらいの能力が発揮、人材が育成される、好循環ができる土壌をつくるべきでは

久元市長 今日の平野議員の御質問を通じて、やはり DX のデジタル人材の育成、それから情報通信産業の誘致、振興、それから医療産業都市における取組、これは非常にそれぞれつながっている一貫したお考えを、今日、開陳していただけたというふうに思い、神戸市として、教育委員会とも連携をしながら、人材育成と中小企業の振興、さらには域外からの企業の誘致と、神戸医療産業都市のさらなる進化と相互に関連づけながら施策を進めていきたい



9月20日の代表質疑の様子

神戸医療産業都市の今後について

平 野 達 司 産業化の促進、市民に対して具体的かつ十分な効果を還元することができるように施策を展開していくのか

今西副市長 神戸医療産業都市は、進出企業が360を超え、1万2,700人の雇用創出効果、そして、1,562億円の経済効果と69億円の税収効果を生み出しており、クラスターとしては一定の成果。

神戸が優位性を備える分野の再生細胞医療、遺伝子治療や医療機器開発、バイオものづくりなどに対する支援を重点的に展開する。今後の成長分野は、医療との親和性が高く、多様な分野・領域との融合・連携が期待されるAIやシミュレーション、ロボティクスなどに対し、事業化や社会実装に向けた取組を積極的に展開し、人材や企業の集積と育成が活発に展開されることが重要。企業間のマッチングやサポート機能強化に取り組んでまいりたい。

中でも、スタートアップの支援につきましては、アクセラレーションプログラムの提供や海外展開支援、ベンチャーキャピタルとのネットワークの形成など、体系的、重層的に施策を展開し、神戸医療産業都市が市民に対して具体的な効果還元が得られるものへ、産業化の促進をはじめ将来像の報告書で描かれた姿の実現に向けて、全力で施策事業を展開する

平 野 達 司 神戸空港の国際化に伴い、アジアの中でも成長著しいシンガポール、インドネシアにおいてバイオコミュニティの形成が活発な地域がある。その場所をターゲットとしたスタートアップ企業の海

外進出など重点的に取り組んでいただく必要があるのではないかと

今西副市長 大変重要な視点。神戸空港の国際化を契機に、アジア圏を中心としたライフサイエンスがより活発になる。

神戸医療産業都市にあるスタートアップが海外進出、特に有望なシンガポール、インドネシアも含めて大変有望な市場があり、進出促進、スタートアップが誘致できるように積極的に取り組む



医療産業都市



手術支援ロボットhinotori

兵庫運河における生物多様性の取組について

平野達司 生物多様性の保全が図られている区域であることを国が認定する自然共生サイトに認定申請すると聞いているが、今後の展望は

久元市長 環境省が絶滅危惧種として指定している希少なカニ類や貝類も見られるようになるなど、人の手で生物多様性が豊かになったすばらしい事例だ、地元の方々が大変強い問題意識を持って取り組んでこられた成果だ

さらに前に進める1つの方策が、自然共生サイト。神戸市として、30by30に兵庫運河が適用できないかと考えている。

このような取組は、国際的にも発信していくことは意義がある。兵庫運河を含めた情報発信、海外に向けた情報発信にもしっかり取り組んでいきたい

平野達司 浜山小学校の隣接地の市有地を活用しバスの停留スペース、シャワー・トイレ・ライフジャケットの保管場所、県産木材を活用した更衣室完備の環境学習施設を整備していただけないか

久元市長 子供たちが豊かな自然環境に親しみ、保全する取組は大変重要、そのための環境整備、場づくりは意味がある。

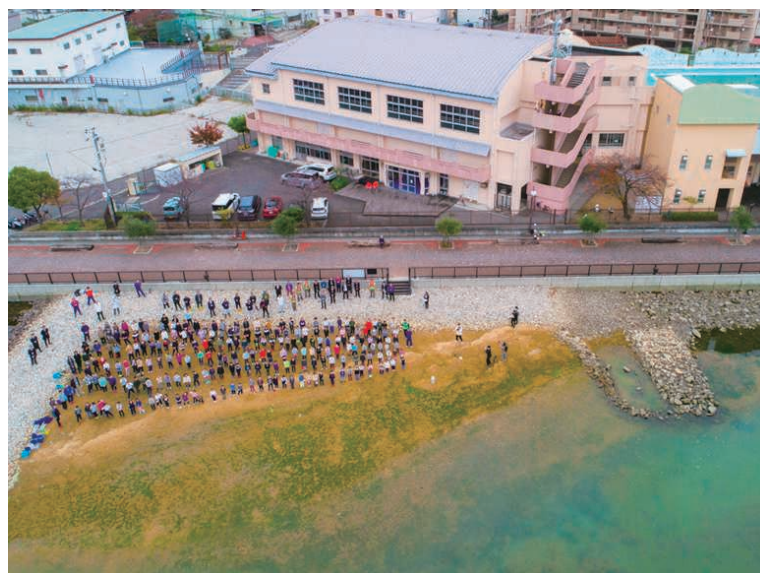
海岸線沿線地域の活性化、エリア価値向上の観点、また兵庫運河周辺の回遊性向上に寄与する観点からも、環境学習に活用できる施設の整備について検討する

自然共生サイト30by30とは、2022年12月にカナダモントリオールで国連の生物多様性条約締約国会議で新たな国際目標の1つとして、生物多様性の観点から、2030年までに各国の陸と海の30%以上の面積を有する30by30の目標が採択。目標の達成に向けて、環境省が生物多様性豊かな区域を認定する制度、国際認証につながる取組

都市局審査において引き続き質疑

平野達司 浜山小学校隣接地への環境学習施設の整備について、今後どのように検討を進めていくのか

山本都市局長 兵庫運河や環境創造の取組が、まさに強みに値するものだ。この観点から、環境学習施設の整備は、浜山小学校隣接地市有地を検討対象とし、兵庫運河周辺の回遊性向上にも寄与する施設となるよう検討を進める。環境学習で実施する取組の発展、兵庫運河をはじめ地域の魅力向上・活性化の両方の視点から必要な機能や規模、整備後の活用、管理方法について、関係局と連携し、できるだけ早期に具体化を図りたい



浜山小学校前の兵庫運河のあつまれ生き物の浜

災害時における医療・連絡体制について

平野達司 南海トラフなど未曾有の広域災害が発生した場合、DMATなどの外部の援助が期待できない場合がある。神戸市医師会では、災害急性期に地域の医療資源を活用し救護活動に当たる災害時神戸メディカルチーム構想の検討を進めている。事前登録の医療従事者を活用し、区単位で医療救護チームを編成し、医療活動を行うもの。また、市の医師会館に本部を置き、本部は各区医療救護チームの編成、調整や後方支援を担う。災害時に構想実現のためには、医師会、区役所、医師会本部、各区医師会の情報連携が必要、能登半島地震では、通信障害が大きな課題であった。

神戸市では、今年度、災害対応病院を各区に拡充配置し、通信障害に備えた無線配置の支援メニューも強化した。災害対応病院への支援同様に、メディカル構想の中で拠点となる医師、医師会、区医師会、区役所にも情報連絡手段の確保を行うべきでは

小原副市長 南海トラフ地震発生時に、DMATが神戸市に入るまでに時間がかかる懸念がある。神戸市の医師会にて、神戸市とは災害時医療救護の協定内容をより実効的なものにするため、災害時神戸メディカルチーム構想が検討されている。

この構想は、事前に医療チームを登録し、災害時に迅速に動ける体制をつくっておくもの。発生直後に医療チームを速やかに編成するためには、市の医師会、区の医師会、区役所が確実に連絡通信ができるシステムを確立することが重要。

災害対応病院と同様、災害時に通信障害が発生した場合に、メディカルチーム構想が機能できる連絡通信環境の整備を検討する

時の医療救護体制を整えている。他の区にも広げ推進すべきだ

三重野地域協働局長 平成25年に灘区が三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）と災害時の医療救護に関する覚書を締結、兵庫区、長田区、須磨区でも同様の覚書が結ばれ、災害時の迅速な医療救護体制が整えられた。今後もこうした先行事例を他の区に広め、関係機関との連携を深めていく



自衛隊機で駆けつけたDMAT（JICAのHPより）

関連して地域協働局審査において引き続き質疑
区役所における災害時の防災体制について

平野達司 神戸市は阪神・淡路大震災の経験から、災害時の防災体制強化に取り組み、区役所では灘、兵庫、長田、須磨などの区では三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）と連携協定を締結し、災害

代表質疑(P2、P3 内容 4 項目)における
質疑動画は、こちら



決算特別委員会企画調整局審査(令和6年9月26日)

平野達司 神戸市内の小中学生を対象に、地元の先進技術をもつ企業(バイオ素材、再生医療、3Dプリンター技術など)と協力し、キャリア教育やシビックプライドの醸成を目的とした学習プログラムを実施しては、いかがか

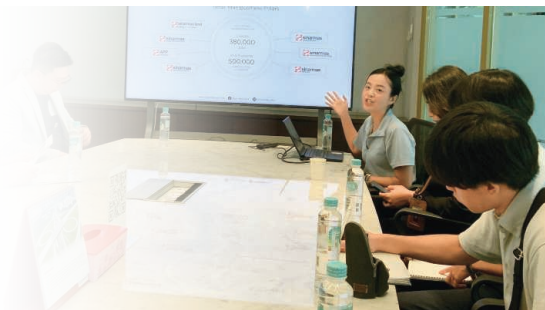
西川企画調整局局長 今年度は教育委員会と協力し、児童や生徒の興味に応じた探究学習やキャリア教育を進めている。生徒からは、学んだ知識が医療産業都市の研究に関連していることに驚き、興味が湧いたとの声もあります。企業も教育プログラムに前向きで、今後さらなる連携を進め、内容の充実を図る予定

平野達司 神戸高専の海外との人材交流について
インドネシアのIT医療系企業が集積するエリアと連携し、IT系人材の相互交流を強化してはどうか

中野企画調整局担当部長 神戸高専は、国際性を育む教育を推進し、ニュージーランドや台湾などの大学と教育研究協定を締結し、教員と学生が訪問している。当該エリアとの人材交流に取り組み、その土壌をつくることで、神戸市へのIT系人材の集積と定着に向けて、経済観光局と連携し取組を進めていきたい。今後も神戸高専の交流含め魅力向上に努めていきたい



神戸高専



インドネシアでの議論の様子

決算特別委員会都市局審査(令和6年9月30日)

平野達司 ノエビアスタジアム神戸でのライブ、試合などのイベント終了後、来場者がそのまま帰らず、この地区に滞在し消費を促すにぎわいをつくるようなまちづくりを取り組んでいただきたい

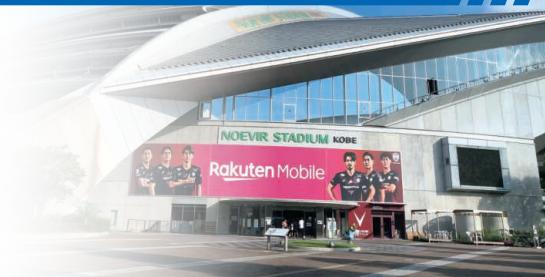
山本都市局長 ノエビアスタジアムの集客力に比べ近隣の飲食店等の施設規模が小さく、消費を促すようなにぎわいづくりには、残念だがつながっていない。このため、集客にノウハウのあるヴィッセルと様々な連携は不可欠。ノエビアスタジアムの集客力を周辺地域のにぎわいに波及させるために、周辺の事業者などを巻き込んで魅力を高めていき、新たな機能の導入を目指すことも重要。沿線地域の活性化に資する施策に積極的に取り組んでいきたい

平野達司 ノエビアスタジアムの南側高松線の市有地の利活用については

武田都市局部長 ノエビアスタジアムの南側の市有地の活用は検討を既に始めており、現在様々な民間事業者へヒアリングをしている。ニーズや事業性の調査も兼ねて試行的な取組の実施を検討していきたい

平野達司 浜山小学校の南側の旧御崎幼稚園の跡地、旧市営御崎住宅の跡地について具体的に検討が進んでいるのか

山本都市局長 土地利活用促進担当ラインを新設し体制を強化した。跡地活用が実現するよう、引き続き粘り強く事業者との検討に取り組んでまいりたい



ノエビアスタジアム神戸

決算特別委員会地域協働局審査(令和6年10月4日)

平野達司 地域コミュニティ団体の高齢化や担い手不足が深刻化しており、役員の負担軽減策やイベントのノウハウ共有が重要ではないか

保科地域協働局副局長 自治会役員の研修や支援を実施し、研修やフォーラムで情報提供を続ける

平野達司 中学生が自治会役員になった事例や中学生が考える防災訓練の事例を紹介し、新しい視点から地域活性化に繋がる取り組みを提案

保科地域協働局副局長 全国の先進事例を学ぶ場を設け、講演会や資料を市のホームページで公開する予定

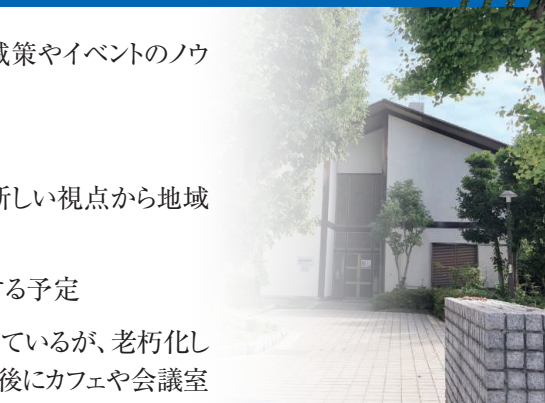
平野達司 神戸市内では、自治会や地域団体が防犯や美化活動など幅広い地域活動を行っているが、老朽化した施設もあり、活動拠点の確保も課題。兵庫区本町公園の老朽化した「本町集会所」を例に挙げ、解体後にカフェや会議室を兼ね備えた施設を提案し、地域の要望に応じた新たな活動拠点の提供検討を

保科地域協働局副局長 地域福祉センターを中心に自治会館や集会所の活用を支援しており、新設や改修にかかる費用を一部補助する制度も設けている

三重野地域協働局局長 多様な関係者との連携が必要で、区長とも協議しながら支援していく

平野達司 神戸市の就業構造で男性が女性よりも多いことや、理工系分野での女性の活躍が少ない現状に触れ、中高生女子を対象に企業と連携し、職業への興味を啓発する取り組みが必要だと提案

村田男女共同参画センター所長 理工系に進学する女子学生や女性研究者の割合が低いことを指摘し、神戸市が実施する「理工チャレンジプログラム」が好評を得ていると紹介。今後、企業や外郭団体と協力し、女性の理工系就職を増やしていきたい



本町集会所



9月20日の本会議場にて

ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございます。また市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は市当局へ直接申入れ、お答えして参りました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するように求めてきました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。
今回は、令和6年第2回定例会市会を中心に質疑の要旨をご報告させていただきました。